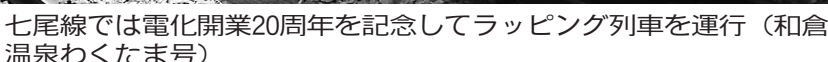


七尾線電化20周年記念イベント開催中 期間：～9月30日



J R西日本では、地元自治体と連携して7月1日から9月30日まで「北陸夏のキャンペーン」を共同で展開している。今年3月の東日本大震災で発生した風評や旅行控えは北陸にも影響を与えた。J R西日本では日本を代表する観光地である北陸を応援するため、今回のキャンペーンを実施。また電化開業20周年を迎えた七尾線の記念イベントや、ラッピング列車「和倉温泉わくたま号」「七尾とうはくん号」「UFOのまち羽咋号」が運転されている。石川方面では「金沢・加賀ぐるりんパス」「金沢・加賀ミニぐるりんパス」を発売しているほか、J R利用の旅行商品造成にも支援を行っている。今回は石川県内のJ R利用が便利な夏の新しい観光スポットを中心に紹介する。

今年には金沢と和倉温泉構内に展示公開すると、ま水族館」では、昨年8月、七尾線の電化によって大阪から特急サンダーバード号、名古屋からは特急しらさぎ号が和倉温泉まで直通で運転されるようになった。JR西日本は、七尾線の電化開業20周年を記念し、8月27日と28日に「車両フェスティブ七尾」を開催。時間は10時30分～15時まで。場所は七尾駅構内。七尾線で使用されている車両を中心に、七尾運転センターにも鉄道関連のさまざまなイベントを開催。41系、521系、683系の、と鉄道車両などの展示のほか、運転席乗車体験、車内放送体験、ミニSL運転、ジオラマ模型展示、鉄道グッズ販売、二十歳の一日駅長、子ども写生大会が催される。

JR西日本では、和倉温泉駅発で、駅から観タクン「ひよっこり能登島コース」（3時間、小型ポイントを出発と同じ和倉温泉駅のほか、和倉温泉の旅館に指定もできる。和倉温泉では総湯が

宇宙と世界農業
遺産／羽咋



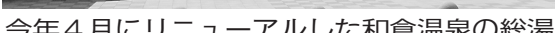
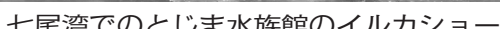
金沢市内では地元の「茶屋街を訪ねるコース」も売れている。旅行商晶は、主計町茶屋街とひがしには、着地のバスと観光施設の入場券がセットになっている「金沢・加賀ミニぐるりんパス」を発売している。

歩いてめぐる新しい金沢観光

また、金沢では、定番の兼六園、金沢城公園、ひがし茶屋街を巡る観光コースに加え、金沢21世紀美術館、旧石川県庁をリニューアルし、フランスの3つ星レストラン「ポール・ボキューズ」が開業したことも注目を集める。「しいのき迎賓館」、近江町いちば館がオープンして海産物や土産品だけでなく、食事やスイーツを気軽に楽しめるようになった近江町市場にも多くの観光客が訪れている。

金沢・加賀くるりんパを集める一しいのき迎賓スは、金沢エリアでは兼六園や金沢城公園を、加賀エリアでは、山代温泉の伝統工芸村「ゆのくにの森」や魯山人寓居跡いろは草庵など、全23施設に入場できる。2施設で伝統工芸体験もできる。

家族客に人気 新しい夏の能登観光スポット



4月に「湯の香 潮の香
総湯館」としてリニュー
ーアルオープンしてお
り、気軽に温泉入浴も楽
しめる。

七尾線ではスタンプラリーも開催中で、スタンプラリー参加や能登ふるさと博観光にも便利なる「能登ふるさと博フリーきっぷ」が9月28日まで発売されている。料金は大人1500円で、2名以上から購入可能（同一行程の場合に限る）。



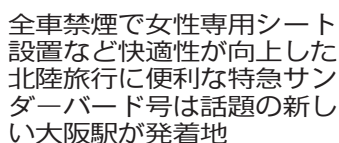
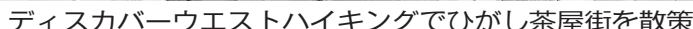
見学できる。入場料は大人350円。ミニシアターは500円。

石川県では羽咋以北能登半島の農業が国連食糧農業機関（FAO）の

他にも、県内では輪島市の名勝・千枚田や珠洲市の揚浜式製塩も世界農業遺産の観光スポットとして注目が集まっている。

にはUFOに関する資料行われている。農産物直
や展示も充実している。売所「神子の里（みこの
他にもプラネタリウム型（さと）」もあり、棚田は
のミニシアターで、宇宙新しい観光スポットにな
や星座についての映像もりつつある。

羽咋駅の近くには、宇宙開発のために実際に制作された実物を多数展示する博物館コスモアイル羽咋がある。また羽咋駅のある羽咋市はUFOで町おこしを行ったことがあり、コスモアイル羽咋棚田で自然農法の稲作が



**キャンペーンやきっぷ、列車などについては
JRおでかけネット <http://www.jr-odekake.net/>**

<http://www.jr-odekake.net/>